

3月1日 卒業証書授与式

本日、卒業証書授与式が行われ、33名の生徒が輝かしい未来へ羽ばたいていきました。保護者や先生、在校生からの温かい拍手に迎えられながら生徒たちが体育館へ入場。開式の辞、国歌斉唱のあと、各クラスの代表に卒業証書の授与が行われました。



校長式辞では、辻中校長が、岩美高を卒業した後独学で管理栄養士の国家資格と教員免許を取得し、夢をかなえた先輩のサクセスストーリーを話し卒業生にエールを送りました。

来賓祝辞では、PTAの南部茂会長が、卒業生へのお祝いの言葉と、本日まで卒業生を見守ってきた保護者の皆さんと先生方に感謝の言葉を述べられました。

在校生送辞では、令和5年度後期生徒会長 2年生の内田くんが、部活動や虹嶺祭、生徒会執行部で常に後輩たちの良き道標となった卒業生に感謝の気持ちを伝え、彼らの残した大切な志を受け継ぎ岩美高をさらに盛り上げていく思いを強く語りました。

卒業生答辞では、永田さんが3年間をふりかえり、仲間と乗り越えた部活動、サポートしてくれた保護者や先生、岩美町の地域の方々、そして苦楽を共にした同級生に向けて、感謝のメッセージを涙ながらに伝えました。

そして、再び温かい拍手に見送られながら体育館を後にしました。改めて、ご卒業おめでとうございます。

卒業証書授与の後は、各クラスにもどり、最後のホームルーム。担任から卒業証書が一人ずつに配られ、再び3年間を思い返すひと時を過ごしました。どのクラスも生徒一人一人がクラスメイトに向けて、一言ずつ感謝の言葉を贈りました。また、担任と副担任からも未来に向けてのエールをいただき、皆が胸いっぱい思い出と感謝とともに慣れ親しんだ校舎をあとにしました。



3月1日 女子バレー部後援会の方々による、女子バレーボール部卒業生6名を送る会が行われました。

卒業証書授与の式の後、日ごろから岩美高等学校の女子バレー部を応援してくださっている「女子バレーボール部後援会」のみなさまによる、女子バレーボール部6名を送る会が虹嶺会館で行われました。

後援会の日出嶋会長のご挨拶、岩美町長戸町長からのメッセージの後、女子バレーボール6名ひとりひとりに記念品が授与されました。記念品は、岩井温泉のオリジナル手ぬぐい、思い出シーンの写真集、女子バレーボール部の仲間たちと一緒に撮影した集合写真、道の駅きなんせ岩美で販売されている岩美町にゆかりの深いおせんべいと20世紀梨ゴーフル、岩井温泉や岩美町の紹介パンフレットの5品。後日、本日の送る会の模様を記録したUSBも送られます。日出嶋さんは一人一人に感謝の一言を添え、名残惜しそうな表情を浮かべながら渡されていました。

そして、卒業生6名一人一人が後援会のみなさんに、3年間の長い間さまざまなサポートをいただいたことを振り返り、感謝の気持ちを伝えました。

最後に皆で記念写真をとり、3年生を見送りました。後援会の皆さんの温かい応援と優しさにつつまれた会でした。



鳥取県立
岩美高等学校

瓦版

TSUREDURE

岩美高校の日常

～令和6年2月・3月～

第5号

岩美高校
ウェブサイト



学校ウェブサイトへアクセスすると更に詳しい情報をご覧いただけます。



2月8日 日・ジャマイカ外交関係 樹立60周年記念式典に参加しました!

2月8日(木)日・ジャマイカ外交関係樹立60周年記念レセプションが東京都内で開催され、本校吹奏楽部がジャマイカ大使館より招待を受け記念演奏を披露しました。

これは、鳥取県とジャマイカのウェストモアランド県が、日本の地方自治体として初となるカリブ共同体諸国との姉妹提携を締結し現在まで交流を行っていること、また2015年の北京世界陸上の際にジャマイカのチームが本県をキャンプ地とし、その歓迎セレモニーで本校吹奏楽部が演奏したことなどから、2022年「ジャマイカ独立

60周年記念式典」に続き招待をいただいたものです。会場は港区虎ノ門の「The Okura Tokyo」。偶然、スピーチの立ち位置等を確認にいらっしやっした鮮やかなジャマイカカラーの着物のリチャーズ大使と記念撮影しました。

主催者、来賓の挨拶、平井鳥取県知事による乾杯の挨拶に続いて、いよいよ本校吹奏楽部の出番です。平井知事が『名探偵コナン』の作者青山剛昌氏に絡めて、「鳥取県民にとってコーヒーはジャマイカブルーマウンテン」とお得意のスピーチをしてくださったこともあり、スムーズに「名探偵コナンのテーマ」から演奏をはじめることができました。2曲目は、ジャマイカの伝説のシンガー、ボブ・マーリーの名曲「ONE LOVE」。演奏の途中からリチャーズ大使がステージに上がってダンスをはじめてくださいました。続いて猪口邦子日・カリブ友好議員連盟事務局長、平井知事からも登壇なさり、演奏を盛り上げてくださいました。ビュッフェオープンの後、歓談中のBGMとして、「Moonlight Serenade」「Moon River」そしてボブ・マーリーの「Jamming」を演奏。最後に部員たちから大使にプレゼントを贈り、無事に出番を終えました。



演奏終了後、平井知事と浜崎県議会議長が生徒のねぎらいと激励のために控室にお越しくださいました。そして、「ウェルカニ」ポーズで記念撮影。緊張から解放された生徒たちは、ジャマイカ料理を味わったり、ジョンソン＝スミス外務・貿易大臣や大使、来賓の方々との記念撮影したりと、貴重な機会を満喫しました。

一生に一度経験できるかどうかの貴重な場を生徒たちに与えていただき、さらに楽器の手配、輸送をはじめ今回の生徒派遣にご尽力いただいたジャマイカ大使館及び外務省関係者の皆様、鳥取県交流推進課の皆様へ改めて御礼申し上げます。

2月17日 4年ぶりに復活★岩美高吹奏楽部 Blue Martin Jazz Orchestra による定期演奏会

岩美高校の吹奏楽部「Blue Martin Jazz Orchestra」による定期演奏会が、岩美町中央公民館 いわみんホールで行われました。

今回で、37回を迎えるこの演奏会!岩美高吹奏楽部の歴史に誇りを感じるとともに、岩美町のサポートに感謝します。演奏会は、3部構成となっており、第1部は、ビッグバンドによるジャズ演奏。第2部は、少人数のグループによる混合演奏。第3部は、アニメソングをビッグバンド編成で演奏。

会の最後に植田くんが「一般の方をお招きして演奏会ができるのは4年ぶり。1年生から3年生までが揃って演奏できたことがとても嬉しい。今日は本当にありがとうございました。」と感謝を込めて挨拶し演奏会が終わりました。



2月2日 プロに学ぶ～食の流儀 in 岩美～ 2-3 生徒が岩美のカレイを華麗にさばく！

本日の2年3組の調理実習は、鳥取県漁業協同組合網代港支所女性部の山根厚子さん、中村恵さん、清水久美恵さん、川部澄子さん、清水とき子さんを講師にお招きし、「地域の旬の食材について知識を深め、食材を活かした調理技術を学ぶ」をテーマに行いました。

実習内容は「カレイの5枚おろしの仕方」とおろしたカレイを使って「カレイのハンバーグ」と「あら汁」を作ります。

まずは、女性部の山根さんがカレイのおろし方のお手本を披露してくださいました。流れるような包丁さばきに生徒たちは目が釘付け！次に生徒は、5班に分かれて「カレイの5枚おろし」に挑戦。各班に女性部の方1人が指導に入ってくださいました。慣れない手つきで包丁をつかい、鱗取りをして5枚におろします。包丁を魚に入れ始めると、表情は一変して真剣モード！かなり集中しています！

骨に身がくっついて苦戦をした生徒もいましたが、女性部の方も関心するほど上達した生徒もいました。おろしたカレイは細かくたたいて、カレイハンバーグをつくり、女性部の方々が、骨のついた部分であら汁を作ってくださいました。調理の間、生徒たちは女性部の方と楽しいおしゃべりをしながら、温かい雰囲気の中で授業が進んでいきました。



いよいよ実食！生徒たちは、カレイのハンバーグのおいしさに驚き、「家にカレイがあったら作りたい」と、とても気に入っている様子でした。また、あら汁も大好評で、何度もおかわりに行く生徒も！

授業の終わりには、生徒を代表して牧間さんが「カレイでハンバーグをつくるのは初めてでしたが、今日は楽しくできてよかったです。いろいろわからないことがあったけど、優しく教えてくださってありがとうございます。また機会があればお願いします。」と感謝の言葉をおくりました。

2月29日 岩美消防署横花壇のベンチ完成と引き渡し会



「農業と環境」の授業の一環で、3年生が1月から取り組んできた「岩美消防署横花壇のベンチの塗り替え作業」。卒業式を明日に控えた生徒11名が、完成したベンチを岩美まちづくりの会みなさんにお渡ししました。鮮やかなブルーにカラフルな四季の花や葉が配置され存在感たっぷり！

3年生の福間さんは、「四季の様々な花や草を描きました。いろんな年齢の方に楽しんでいただきたいです。」と完成したベンチを見ながらコメントしてくれました。



岩美まちづくりの会 中道会長は「生徒のアイデアで植物の絵柄を提案してもらい、立派なベンチが完成しました。卒業した後、岩美に来た際は、このベンチに座り懐かしんでほしいです。本当にありがとうございました。」と笑顔で語ってくださいました。

岩美消防署横の花壇にお立ち寄りの際は、ぜひこちらのベンチに座ってゆっくりご休憩ください。



3月14日 本日、合格発表！

本日、正午ちょうどに、岩美高等学校合格者発表がありました。30分ほど前から、発表を今か今かと待つ保護者の方や中学の先生方に見守られながら、合格者の番号が掲示されました。

大きな歓声などはなかったものの、笑顔で記念写真を取る姿などから、春の訪れを感じることができました。



3月15日

合格者説明会学校説明会開催



本日は、合格者説明会と物品販売が行われました。合格者説明会では、情報モラル講演会行なわれ、ネット社会のリアルな現状を把握し、インターネットやSNSを利用するには、多くのメリットやデメリットがあることを再認識しました。

続いて、学校説明会が開催され、手続きに必要な各種書類についての詳しい説明や、生活指導、進路指導、特別支援・保健、教務、PTAについてそれぞれの担当教諭より説明がありました。

その後、教科書、体育用品などの物品販売がありました。合格者・保護者の皆様のご協力のもと、説明会、物品販売ともスムーズに行なうことができました。



2月26日 すくすく！のびのび！アクション：防災教材と赤ペンをいただきました。

本日、明治安田生命の伊澤さんより、「青少年赤十字防災教育プログラム『まもるいのちひろめるぼうさい』(小・中・高生向け)教材」「赤ペン30本」、そして目録をいただきました。これは明治安田生命の学校の子どもたちを応援する取組「すくすく！のびのび！アクション」の一環で、明治安田生命が包括パートナーシップ協定を締結している日本赤十字社との連携により、青少年赤十字に加盟している本校への寄贈につながったものです。

いただいた教材や赤ペンは、防災教育や探究的な学習のさらなる発展のために活用させていただきます。ありがとうございました



2月23日 エフエム山陰「FRIDAY×FRIDAY」トキ沼スクールライフで放送されました。

いまどき高校生が「沼っていること」「ときめいていること」について語るコーナー、エフエム山陰「FRIDAY×FRIDAY」のトキ沼スクールライフ。1月に行なった事前収録が、本日2月23日に放送されました。



FM 山陰ラジオ番組：「FRIDAY×FRIDAY」トキ沼ハイスクール



2月5日 岩美中学生に向けた模擬授業！ ～中学 2 年生が高校の教室で授業を体験～

本日の 5 限 6 限は、岩美中学校 2 年生の生徒を本校に迎えて、高校の授業体験が行われました。

5 限に行われたのは、「国語」「英語」「数学」「商業」。

国語の授業は、矢澤教諭が担当。物語を読み込み、刑事になったつもりで事件の謎をひもといていきます。言葉の中に秘められた解決への糸口をグループにわかれて見つけるといった活動しながら、物語にグッとひきこまれていく授業展開を生徒たちは楽しんでいました。



英語の授業は、濱橋教諭が担当。まずは、岩美高校クイズにチャレンジ！「岩美高にはいくつクラスがあるか。」など英語での質問に英語で回答し、岩美高校について知識を深めました。

そして、岩美高校の特徴的な授業である、調理実習やシーカヤック授業などの写真を見て、岩美高生たちの様子を英語にしたり、お皿洗いや、テレビを見るという日常的な様子を描いた写真やイラストをみて英語にしたりと、生徒たちは積極的に英語表現に取り組んでいました。



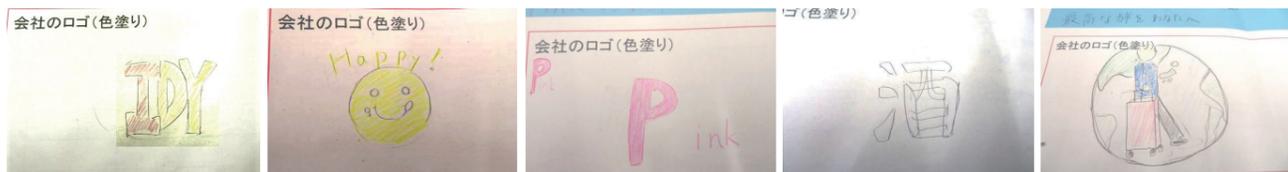
数学の授業は、金山教諭が担当。数学IIの「分配法則」と「係数取り出し法」について学びました。

分配法則では、 $(a + b)$ の 2 乗、3 乗、4 乗と難易度を上げて挑戦！生徒たちは同類項をまとめるのに苦戦しながらも一生懸命取り組んでいました。そして、より簡単に求められる展開式「係数取り出し法」を学習し、数字の気づきを学んでいました。

商業の授業は、谷本教諭が担当。まず初めに、生徒 1 人ひとりが自己紹介を 15 文字以内で作成しグループに分かれ発表しました。自分の特徴を 15 文字に簡潔にまとめるのは至難の業です。

次に国内の企業 9 つの「コーポレートメッセージ」が示され、メッセージがどの会社を示しているのかをグループで話し合い当てるゲームを行いました。

メッセージのみで会社が想像できる言葉選びがいかに重要かを学んだところで、今度は自分たちの会社を思い描き、そこに 10 ～ 15 文字の「コーポレートメッセージ」とカラフルな「ロゴマーク」を作る活動をしました。



6 限目は、「国語」「英語」「商業」と「理科」。

理科の授業は、高原教諭が担当。はじめに、「おもさ」とは何かを考えるため、「鉄 100g と綿 100g、どちらが思いですか。」といったトリッキーな質問からはじまりました。そして、日常語で「おもさ」と呼ばれる 3 つの単位、「密度」と「質量」と「力」についての認識を整理した後、実験を交えながら科学の授業を体験しました。

生徒たちは、メスシリンダー、ビーカー、水、ボルト（鉄）、10円玉（銅）、1円玉（アルミニウム）を用いて、複雑な形の物体の体積を量り、鉄、銅、アルミニウムの 3 つの物質の密度を計算しました。

あっという間の 2 時間でしたが、参加した生徒たちは、実際の教室で高校生気分を味わいながら授業を楽しんでいる様子でした。



2月15日 ふれあいいきいきサロン実習～あじろカニカニサロンで楽しい活動～

本日の 2 年 3 組 福祉類型の授業は、地域福祉実習の一環として、岩美町の網代女性会館で活動をしている「あじろカニカニサロン」のみなさんと交流をしました。地域の高齢者と交流を行うことで、企画提案力、会話力、マナーなどを身につけることを目的とするこの実習は、本日が今年度最終回！生徒たちは、この日のために考え準備してきたレクリエーションをサロンのみなさんと一緒に楽しみました。

生徒たちが会場に到着すると、皆さんが拍手と笑顔で迎えてくださいました。早速、「ボールコロコロカーリング」ゲームのルールを山内さんと山本くんが説明してくれました。



サロンのみなさんは、生徒たちがどんな提案をするのか注目してくださっています。ルールは至ってシンプル！玉をなげて、点数の書いてある的を狙います。中にはマイナスポイントの的もあるので、慎重に狙いを定めなければなりません。

ゲームに使用する道具は全て生徒たちの手作り。新聞や画用紙などを使いカラフルに仕上げられています。新聞紙でつくった手作りの玉は、形がいびつになっているため、思いもよらない方向に転がりハラハラドキドキです。サロンのみなさんと生徒たちは、ナイスプレーには歓喜の声を上げ、マイナスポイントには残念ながらアクションを示しながら和やかな雰囲気での 1 時間となりました。

交流の最後に、生徒たちからサロンのみなさんに手作りしたメッセージ入りのペンダントを贈りました。1つ1つ全てがメッセージに、サロンのみなさんにはにっこりとされていました。交流時間も残りわずかとなり生徒たちは、名残惜しそうにハイタッチをして会場を後にしました。

本日の交流について、あじろカニカニサロンのメンバーさんは、「面白いゲームに感心した。」「手作りの道具が良かった。特に玉はいろんなところに転がるので面白さが増した。」「こんな風に交流したのは初めてなので、新鮮で良かった。ぜひ、また来てほしい。」「若いエネルギーがもらえて元気が出た。」などといった感想をいただきました。生徒たちからは、「あじろカニカニサロンのみなさんは、みんな笑顔がとても可愛かった。」「やさしく接してくれて嬉しかった。」「頑張ってた！といってもらえて、元気が出た。」などの感想があり、交流後の生徒の顔が、やさしい顔になっているのがわかりました。



3月18日 生徒のアイデアが詰まった「超特大★岩美町看板」が東浜 IC に完成！

昨年 10 月に、岩美高生がデザインの製作に携わった「岩美町看板」が、岩美道路の東浜 IC 出口に完成しました。この看板は、岩美道路を車で通行する際、ここが岩美町であると視覚的に PR する看板。岩美町商工観光課と市内の看板会社が、高校生のフラッシュなアイデアを取り込みたいと意見交換を行ない製作が進められてきました。

意見交換会で生徒たちは、フレーズについて活発な意見を出し、それらの意見がそのまま形となった看板となりました。

本日、完成した実際の看板を見に行ったのは、1 年生の尾崎君と山本君、2 年生の小島君と小林君。4 名の生徒の感想は、「近くから見ると想像以上に大きく、インパクトがあると思いました。」「この看板を見て、岩美町に立ち寄り観光客が増えてほしい。」「ようこそ！はありきたりと思ったので、待ったで！といった方言がいいと意見を出しました。」「あがるぜ！くつろげ！といった表現は今までしていなかったフレーズなので、若い人にも興味を持ってもらえたら嬉しい。」とそれぞれの思いを語っていました。この看板は、岩美町を象徴するものとして、何十年にもわたって残るものなので、制作に携わった生徒たちにとって、文字通りの大きな高校時代の思い出となることでしょう。



2月16日 本日お披露目！ 岩美高生デザインの観光PRポスター☆

若者の目線で岩美町の魅力を発見しPRを行うために、岩美町と岩美町観光協会、そして岩美高等学校が協力して作成している「岩美町観光PRポスター」。この取り組みも今回で3年目！

今年は、1年生の福間さんと佐藤さん。3年生の福間さんがデザイン製作に取り組んでおり、本日、長戸町長と岩美町観光協会 川口会長に向けてのお披露目会が行われました。



3年生の福間さんは3年連続ポスター製作に取り組んでくれました。「今回は、過去2年とは違うマンガ調に仕上げました。駅などにマンガのポスターが貼ってあると立ち止まってじっくり見るので、県外の方にじっくり見ていただき、岩美町に来てほしい。イラストの女の子は、県外からの観光客のファッションを参考に描きました。またフォントにも工夫して仕上げました。」と作品を紹介してくれました。

1年生の福間さんは、「岩美町には有名な観光スポットはたくさんありますが、町にいる猫が可愛いなどの日常の些細だけれど素敵などころも知ってほしいという思いで書きました。また、しゃべり言葉の鳥取弁が県外の方には新鮮に見えるのではないかと思います。」と発表してくれました。



1年生の佐藤さんは、「自分が選ばれると思っていなかったのに、とても嬉しいです。岩美町の海は夕日もとてもきれいです。いままでのポスターに夕日が多かったので他と違った景色を描きたいと思いました。日が沈み暗くなっていくのを表現するために紫色を多く使いました。ポスターの中に岩美の名物が隠れているので、見つけてください。」とコメントしてくれました。

3名の発表を受けて、岩美観光協会 川口会長から「今年は文字を多く使った作品もあり力作揃い。若者のアイデアが詰まった作品を本当にありがとうございます」また、長戸町長からは、「斬新な作品を毎年ありがとうございます。岩美町を知ってもらうのにとってもいいポスターができました。岩美町だけでなく鳥取県や関西の駅などでもどんどんPRしていきます。」とお言葉をいただきました。最後に、辻中校長が、「3年間、観光PRポスター製作に生徒たちが携わってきて、2つの大きな変化を実感しています。1つ目は、活動を通して地域貢献の意識が高まってきていること、そしてこの活動がキャリア教育に繋がっていること。2つ目は、自分のデザインがポスターになることで生徒たちの自信につながり、自己有用感が高まっていることです。今後も、可能な限り多くの活動に協力していきたい。」と述べ会を締めくくりました。

3月13日 公共授業：山陰合同銀行から講師を迎え「自分の将来とお金の話」講演開催！

公共授業の一環で、山陰合同銀行 アセットコンサルティング部より曾根さんを講師にお招きして「自分の将来とお金の話」をテーマに講演会を行いました。

曾根さんは、10年、20年先の現実的な将来を見越して、結婚して子どもを育てていくにはどれくらいお金が必要になるか？ どれくらいの貯蓄をめざすとよいか、そしてその運用の方法は？ など、とても具体的に分かりやすく講演してくださいました。

生徒たちは、曾根さんのお話に変な興味を示し、真剣に現実的なお金の話を聞いていました。

生徒からは、「曾根さんの話が面白くて資金運用に興味を持つことができました。」「将来どれくらいの貯蓄を目指すかよいかなど思い描けた。」といった感想を聞くことができました。



3月22日 3学期終了！表彰式・終業式・離任退任式が行なわれました

本日で、3学期が終了です。大掃除のあと、体育館で表彰式、終業式、離任退任式が行なわれました。

表彰式では、学業成績優秀賞と皆勤賞が表彰されました。学業成績優秀賞部門では、2年1組の森さん、1年2組の岡田さんが生徒を代表して、表彰状を受け取りました。皆勤賞の部門では、2年2組の山本くん、1年1組の田中くんが生徒を代表して、表彰状を受け取りました。

引き続き、終業式が行なわれました。学校長式辞では、辻中校長が「成長のための2つの基準」について話しました。



1つ目は、部活や勉強、進路において目標をもち向かうこと。2つ目は、自分の感情や衝動を抑え、相手を思い言動すること。特に2つ目について強調され、人を思いやる基準をもって新学期を迎えられるようにと述べました。学校長式辞の後、吹奏楽部による演奏で校歌斉唱を行ない、第3学期終業式が完了しました。

そして、離任退任式。10名の職員が壇上にあがり、辻中校長が一人一人とのエピソードや思い出を振り返りました。

離任する職員を代表して、三浦教頭から挨拶がありました。三浦教頭は、2年前の就任時を思い返し、「コロナ禍ただ中にスタートした岩美高校での生活でしたが、生徒のみなさんの日々の生き生きとした姿に元気をもらいました。幼い子どもは常識や型にはまらない発想ができる。みなさんも、既成の概念にとらわれない発想の豊かさと人を思いやる姿勢を持って高校生活を送ってほしい。」とメッセージを送りました。

最後に、生徒会執行部の生徒が花束贈呈をし、思いがあふれて涙ぐむ生徒も見られ、言葉では言い表せないほどの感謝を伝えているようでした。



2月22日 岩美町体育会表彰式：陸上部（個人）と女子バレー部（団体）が表彰されました。

岩美町中央公民館 いわみんホールにて、令和5年度岩美町体育会表彰式が行われました。

岩美町のスポーツ発展に貢献された方や優秀な成績を収められた方の功績を称えて行われる表彰式。スポーツ賞（個人）部門に、陸上部2年の徳本君、ウエイトリフティング部2年の山本君、スポーツ賞（団体）部門に、女子バレー部が表彰されました。

岩美町体育会会長の寺本会長は挨拶で、「岩美高校女子バレー部の活躍は、岩美町の名前を広めてくれている。ありがとう。今後とも頑張ってください。」と応援の言葉を述べられました。また、長戸町長は、スポーツ賞個人を受賞した小中高校生に、「これからも大好きなスポーツと勉強を頑張り、将来オリンピックの選手が岩美町から誕生することを夢見ています。」と述べられました。

みなさんおめでとうございます。



3月13日 1年生を対象に進路別説明会開催！

岩美高生が目指そうとする分野から講師を招き、進路別説明会を1年生対象に行ないました。

進学希望者は、目指す分野によってルームに分かれ、大学、短大、専門学校からお越しいただいた講師の方々に、学校や学習の様子について直接アドバイスを受けました。

講師との距離もとても近く、生徒たちはメモを取りながら将来の進路について真剣な表情で考えていました。なかには、授業で使う実際の道具を使いアクティビティをする場面もありました。

生徒たちは少しでも上級学校の学習に触れ楽しんでいる様子でした。



就職試験対策講座では、就職活動の時期やスケジュール、就職状況や就職試験への取り組み方の指導を受けました。

3月18日 探究学習発表会（2年生）・成果報告会（1年生）開催！



● 1年生

- 【アレルギー】花粉症について 【人口問題】岩美町の人口問題
- 【温泉】温泉にはどんな魅力があるか 【自動車】クルマのカスタムの魅力と進化
- 【食べ物】洋菓子の魅力を伝えるために 【食べ物】食物と地域のつながり
- 【釣り、海の生物】岩美の海では何が釣れるのか
- 【サイクリング】サイクリングをして岩美町をもっと知ろう
- 【旅行】修学旅行のプランをたてよう 【ミュージカル、洋楽】指人形劇
- 【犬】保護犬の活動をサポートするために 【ミニ四駆】最速のミニ四駆とは？
- 【城】こんな鳥取城再建どうでしょう？ 【少年ジャンプ】まちおこしマンガをつくってみよう
- 【環境】山陰海岸ジオパーク 【歴史】澤田美喜について



● 2年生

- 【遊ぶ】貝で芸術作品を作る 【遊ぶ】シーカヤック体験
- 【観光】浦富海岸（海とゴミ）について 【観光】岩美の観光地を回ろう
- 【子ども】岩美町に子どもが集まるためにみんなで住もう岩美町 【子ども】海で楽しむ
- 【住む】岩美町の空き家を活用し隊 【食】捨てられる物を使って
- 【食】フレッシュいわみ 【農業】マコモダケを発信しよう
- 【生き物】松葉ガニ 【自然】岩美町の防災について 【健康】高齢者の運動について

本日、2年生は探究学習の発表会、1年生は学習の報告会を同時刻に学年別に行ないました。

今年は対面での発表でなく、選択教室から配信し遠隔での発表となりました。

それぞれの班が取り組んできた探究テーマをスライドにまとめ、1年間の学習や活動を紹介しました。ひと班に与えられたプレゼン時間は、質疑応答を含めて7分。

1年生は、自由な課題についての取り組み、2年生は、岩美に特化した内容となっており、お互いの発表を聞くことで刺激を与え合っているようでした。



ゲストにお迎えした町内の方々からも、幅広い分野で活動をしているいろんな可能性を感じたと感想をいただきました。

2月15日 大学生サークルによるピアエデュケーション講演：よりよい交際について



本日は、鳥取大学医学部保健学科の大島麻美 助教と、鳥取大学医学部保健学科ピアサークル17名を講師にお招きして、2年生を対象に「ピアエデュケーション」学習が行なわれました。

ピアエデュケーション（仲間教育）は、思春期の若者が抱える性の悩みなどについて、同世代の仲間（ピア）が相談役になり、考えたり意見を交わしたりして解決を目指す取り組みです。

講演は、ピアサークルメンバーが主体となり、生徒たちと近い目線で性に関する様々な問題を取り上げます。本日のテーマは「よりよい交際」。



「大切な人との付き合い方」をグループで話し合ったり、人が人に惹かれる愛のお話を「アンドロギュノス」という物語で語ってくれたり、「デートDV」「望まない妊娠」「性感染症」「性的同意」について分かりやすく劇を交えて講演してくれました。

性に関する正しい知識や専門性を持つサークルメンバーは、5～6名に分けた各班に1名ずつ加わり、生徒たちの意見を聞き出し、指導的立場としてアドバイスなどを行なってくれました。

とても繊細な問題ですが、年齢が近い大学生たちが優しく寄り添いアドバイスをしてくれることは、生徒たちにとって、学校の性に関する指導に比べて、よりリラックスして問題と向き合え、知識や考えを共有できる良い機会となったようです。



2月7日 美術：絵の世界を歩く～デジタル鑑賞技術「Walk View」を使った絵画鑑賞

美術の授業の一環として、デジタル鑑賞技術「Walk View」を使って、絵画の鑑賞授業を行いました。

講師に、鳥取県立博物館の美術復興課 専門員の外村さん、専門員兼芸芸員の佐藤さんをお迎えし、博物館に所蔵されている絵画を美術室のスクリーンに映し出し鑑賞をしました。

「Walk View」は、スクリーンに映し出された絵の中に入り込んだような疑似体験が出来るデジタル鑑賞ツールです。スクリーンから少し離れた床に9つの小さな正方形のマスが配置され、鑑賞者がマスを移動するとセンサーが反応し、投影画像を動かします。ウォークビューは、絵画を立体的に体感できるだけでなく、視点を変えて鑑賞することができるので絵の構成を楽しく理解することが出来ます。本日本験授業を行ったのは、1年1組と1年2組の美術を選択している生徒たち。



佐藤さんと下村さんの美術の専門家から、絵画を鑑賞する際の視点をサポートしていただきつつ、30分近く1枚の絵をじっくりと鑑賞・観察する授業となりました。

生徒たちは、「こんなに長い間1枚の絵を見たことがなかった。」「いろんな意見を聞いたり、言ったりし合いながらの鑑賞はとても楽しかった。」

「細かく見ることで作者の丁寧さを感じられた。」「1つの絵でも、人によって違う見え方をしているのが分かった。」「一層、絵画の良さを知ることができた。」「絵の中に入ったみたいで、すごい技術！」など沢山の感想が聞けました。

生徒たちは、滅多に体験することができない技術を使った絵画鑑賞を楽しんでいる様子でした。

